



地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	APP
2 事業名	若者世代の地域防犯参画事業
3 事業実施結果	<p>若者世代の地域防犯参画事業として、以下の通り実施しました。</p> <p>1. 青パト活動</p> <p>青パト活動については、使用する車両は企業の社用車で、企業と学生防犯ボランティア団体が連携して青パトを運用していくことは全国でも初の取り組みで、このモデルを全国に広げていくために、活動を継続しています。</p> <p>活動では、自転車盗・子どもの連れ去り等に重点を置いて活動しています。そのため、自転車置き場や、小学生の下校ルートを中心にパトロールを行っています。車両を使用してパトロールをするので従来の徒歩パトロールよりも、より多くのエリアを回ることができるほか、回転灯により、歩行者や他のドライバーの視線を感じる事が多く、活動の効果を実感しました。</p> <p>また、この活動をメディアでも取り上げていただき、自分たちの活動の効果をより実感することができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 1317 914 1709">  <p style="text-align: center;">青パト</p> </div> <div data-bbox="946 1294 1457 1966">  </div> </div> <p style="text-align: right;">啓発マグネットを張り付けて活動しています</p>

2. 昭和警察署との連携

昭和警察署と合同で、ショッピングセンター内で防犯啓発チラシの配布や、中京大学内で、大学生向けに自転車盗の防犯啓発活動として、補助錠が入ったチラシを配布しました。

今後も、この活動を継続していくことで、地域の安心安全なまちづくりの形成に貢献していき、尚且つ学生側の防犯意識を高めていきたいです。



ショッピングセンターでのビラ配布

3. 愛知県警察本部との連携

(1) イベント参加

すこやかフェスタ等で警察ブースのお手伝いをさせていただき、親子連れの方々に対して防犯クイズを出題する等して、防犯啓発活動を行いました。

また、他大学の防犯ボランティアサークルの方々と一緒に活動を行いました。他大学の学生の方と活動することは今年度まであまりなかったので、他大学の学生と交流することができてとても良かったです。



(2) 全国防犯 CSR 推進会議愛知部会との意見交換会

全国防犯 CSR 推進会議愛知部会の方々、他大学の防犯ボランティアの方と
闇バイト対策に向けた意見交換会を行いました。コロナ禍前まではこのよう
に学生と企業との接点があったようですがコロナ禍以降なくなってしまっ
ていたため、今後とも企業とも連携して何か防犯対策を進められるようにし
ていきたいです。



意見交換会の様子

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>青パト活動については、月2回を目標に掲げていましたが、大学の授業との兼ね合いもあり、月1回の活動の月もありました。しかし、今年度から新しいメンバーが増え、活動の際もメンバーが固定化することなく多くの人が青パト活動に参加してくれるようになりました。また、青パト車両の貸し出し場所までの交通費の負担がネックとなって参加を躊躇していた新しいメンバーが活動に参加してくれるようになりました。</p> <p>昭和警察署との連携に関しては、ショッピングモールでの防犯啓発ビラ配布だけでなく、大学内でも自転車盗の防犯啓発として補助錠を配ることで同年代の若い世代に向けても防犯活動を行うことができました。</p> <p>愛知県警本部との連携に関しては、今まで、他大学の防犯ボランティアの学生と関わる機会がなかったため、他大学の学生と一緒に活動することで活動が楽しくできたといった声も上がっていました。</p> <p>今後の課題としては、新規メンバーの獲得、より多くの現所属メンバーに活動に参加していただくという点です。団体を継続していくには新規メンバーはもちろんのこと、現状活動に参加していただいているメンバーが固定化されているため、今まで活動に参加していないメンバーにどのように参加してもらおうかが、今後APPとして活動を続けていくうえで大変重要な課題であると認識しています。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>今後の取組みとしては、昨年同様、青パト活動の継続・活動メンバーの確保を重点的に行っていきたいと考えています。</p> <p>まず青パト活動については、使用する車両は企業の社用車で、企業と学生防犯ボランティア団体が連携して青パトを運用していくことは全国でも初の取り組みのため、この活動を継続していくことがこのモデルを全国に広げていくカギとなると考えています。</p> <p>また、今年度は、メディア取材や、発表会などの場で自分たちの活動を発表する場もあったので少しずつではありますが活動が認知され始めているのではないかと考えています。</p> <p>活動メンバーの確保に関しては、新入生向けに勧誘チラシを作製、既存の活動に消極的なメンバーへの参加のアプローチを強化するなどして活動メンバーを確保していきたいと考えています。</p>
----------------------------------	---